

2017年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題（テーマ）

瀬戸保健所主催「食の安心安全タウンミーティング」共催

■主任研究者 岸本満

■共同研究者 なし

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】

愛知県瀬戸保健所「食の安全・安心タウンミーティング」は、学生、一般市民、食品関係事業者及び愛知県瀬戸保健所が直接意見を交換することにより、食の安全に関する情報を共有し、関係者の理解を深めることを目的とした。

【計画・方法】

別紙1：実施計画

別紙2：開催案内参照

【結果・考察】

別紙3：タウンミーティング進行表

別紙4：事前質問

別紙5：参加者アンケート結果

別紙6：開催概要

別紙 1

平成29年度「食の安全・安心タウンミーティング」実施計画

(目的)

第1 「食の安全・安心タウンミーティング」(以下「タウンミーティング」という。)は、管内の学生、市民、食品等事業者及び愛知県瀬戸保健所が直接意見を交換することにより、食の安全・安心に関する情報を共有し、関係者の相互理解を深めることを目的とする。

なお、愛知県瀬戸保健所は、食の安全・安心タウンミーティングで出された提言が食の安全・安心推進事業の施策に反映されるよう努めることとする。

(実施方法等)

第2 食の安全・安心タウンミーティングの実施方法等は、次のとおりとする。

- 1 実施機関 愛知県瀬戸保健所
- 2 共催機関 名古屋学芸大学健康・栄養研究所
- 3 日 時 平成29年9月12日(火) 午後2時から午後5時まで
- 4 会 場 名古屋学芸大学内教室 日進市岩崎町竹ノ山57番地
- 5 参加対象者 学生、市民、食品等事業者(100名程度)

6 参加者募集方法

- (1) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市及び東郷町の広報に参加者募集記事を掲載する。
- (2) 名古屋学芸大学等の学生に周知する。
- (3) 瀬戸保健所のホームページで周知する。

7 実施方法

- (1) 食の安全・安心に係る食品表示制度の紹介及び食品製造メーカーの表示に係る取組紹介
 - ア 消費者庁からの制度紹介
 - イ 食品製造メーカーの表示に係る実際の取組事例紹介
- (2) 意見交換会
学生、市民、食品等事業者及び保健所職員が参加して意見交換会を開催する。
(コーディネーター 名古屋学芸大学管理栄養学部教授 岸本 満 氏)

(事業評価)

第3 食の安全・安心タウンミーティング参加者に、次の事項を含んだアンケートを実施し、事業評価を行う。

- (1) 年齢、性別、職業
- (2) 食の安全・安心タウンミーティングの開催をどのように知ったか
- (3) 関係者の理解が深まったと思われる度合い
- (4) 参加して役立った、役立つと思われた事項
- (5) 今後、取り上げて欲しい内容
- (6) 行政(瀬戸保健所)に対する要望事項
- (7) その他

別紙 2 「食の安全・安心タウンミーティング」参加者募集

主催 愛知県瀬戸保健所 環境・食品安全課食品指導グループ

☎ 0561-82-2198 FAX: 0561-82-9188

共催 名古屋学芸大学健康・栄養研究所

「食品の表示や添加物に関すること」を主題に一般市民、食品関係事業者、保健所が意見交換する「食の安全・安心タウンミーティング」を開催します。

●と き 平成29年9月12日(火) 午後2時から午後5時まで

●ところ 名古屋学芸大学5号館 521教室

●内 容 1.講演 : ①「食品表示の役割と機能性表示(仮)」

講師: 消費者庁食品表示企画課 担当官

②「食品表示の実際」

講師: 食品製造メーカー 品質保証担当者

2.意見交換会 :

学生、一般市民、食品製造メーカー品質保証者及び保健所職員が参加し意見交換をする。

●募集定員 学生(約60名)、一般市民(約40名)

●持ち物 筆記用具

●申込方法① 9/8(金)までにメール(送信先 satomi-k@nuas.ac.jp)で申込み。

「食の安全・安心タウンミーティング参加申込」とタイトル記入、

1) 学年 2) クラス 3) 学籍番号 4) 氏名 5) 年齢 6) 性別
7) 電話番号 8) 食品衛生関係で関心のあること
を書いてお送りください。

●申込方法② 9/8(金)までに1号館3階廊下設置のポストに以下の申込用紙を切り離してご提出ください。

●申込方法③ 8/17(木)までにファックスで、愛知県瀬戸保健所環境・食品安全課食品指導グループまで、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、食品衛生関係で関心のあることを記載してお送りください。

「9月12日食の安全・安心タウンミーティング参加申込」 月 日 申込

学年	クラス	学籍番号	
氏名	年齢	男 ・ 女	
住所 〒	電話番号		
食品衛生関係で関心のあること			

別紙 3

タウンミーティング進行表

日時：平成29年9月12日（火）

14時から17時まで

場所：名古屋学芸大学5号館 521教室

（司会進行：濱島）

時 間	内 容
14:00	あいさつ 1 瀬戸保健所環境・食品安全課 課長 水野 孝彦 2 名古屋学芸大学健康・栄養研究所長
14:10	講演①「食品表示の役割と機能性表示（仮題）」 消費者庁食品表示企画課 課長補佐 西尾 素子
15:00	〔休憩〕
15:10	講演②「食品表示の実際」 フジパン株式会社 購買部表示課 課長心得 牧野 卓哉 ⇒会社の概要及び食品表示に対する取り組みの紹介
15:40	講演③「食品表示の実際」 金印株式会社 品質保証部 星野 則之 ⇒会社の概要及び食品表示に対する取り組みの紹介
16:10	講演④「食品表示の実際」 コーミ株式会社 品質保証部 鈴木 昌世 ⇒会社の概要及び食品表示に対する取り組みの紹介
16:40	〔休憩〕 意見交換会の準備
16:45	意見交換会 コーディネーター 名古屋学芸大学栄養科学研究科管理栄養学部 教授 岸本 満 パネラー 消費者庁食品表示企画課 課長補佐 西尾 素子 フジパン株式会社 購買部表示課 課長心得 牧野 卓哉 金印株式会社 品質保証部 星野 則之 コーミ株式会社 品質保証部 鈴木 昌世 瀬戸保健所 環境・食品安全課 課長 水野 孝彦
17:00	終了

別紙 4

平成29年度 食の安全・安心タウンミーティング 事前質問（食品衛生関係で関心のあること）

- ・食中毒について 23名
- ・食品表示について 23名（うち機能性食品表示について 6名）

機能性表示をした際のメリット・デメリット（売れ行きや客の反応など）など、食品表示が決められる過程、機能性表示食品ができる過程、機能性表示の基準、機能性食品の現状について（どんな商品が出ているのか等）等

- ・食品添加物について 18名

添加物は良い物か悪い物か、添加物の昔と今で異なる点、どのように添加物を減らしているのか、添加物のメリットデメリット、添加物の定義・用途など、加工食品に含まれる添加物の量や種類や人体への影響について、添加物による品質管理の影響について、等

- ・HACCPについて 8名
- ・企業の衛生管理について 8名
- ・飲食店の衛生管理について 2名
- ・遺伝子組み換え食品について 1名
- ・食品衛生監視員について 2名
- ・食品に関する事件について 1名
- ・食品衛生管理者と食品衛生責任者の違いについて 1名
- ・食品の安全性について 1名

別紙 5

平成29年度食の安全・安心タウンミーティング アンケート結果

回答者 103名

内訳

年齢	30歳以下	40歳代	50歳代	60歳代	無回答
人数	99	0	2	1	1

性別	男	女
人数	10	93

設問1 食の安全・安心タウンミーティング事業をどのようにしてお知りになりましたか。

学校からの情報	97人
知人からの情報	3人
市町の広報を見て	3人

設問2 今日のタウンミーティングに参加して、参加関係者間の相互理解が深まりましたか。

たいへん深まった	29人
ある程度深まった	63人
どちらともいえない	5人
まったく深まらなかった	0人
無回答	6人

設問3 タウンミーティングに参加して、役だったことがありますか。

- ・食品表示について詳しく知ることができた。(43件)
- ・企業の取り組みについてよくわかった。(37件)

栄養成分表示が作成される過程についてよくわかった。

新しい食品表示法にどのように対応しているのか知ることができ、将来に役立つと思った。

企業により表示に対する重点の置き方、考え方が異なっていることを感じた。

表示の仕方が売り上げにつながるものもあると知った。(トランス脂肪酸の表示など)

原産地について産地証明を取得するなどしっかりした対応がとられていることがわかった。

商品の売り文句は何を基準にしているのかわかった。

営業(マーケティング)のためのデザインと表示法についてよく考えて違反しないように工夫されているのがわかった。

デメリットの表示を行うことで次の購入につなげられることがわかった。

コーミソースについて始めて知ることが多かった。低脂肪の献立に使いそうと知った。

- ・食品表示を気にしてみようと思うきっかけとなった。(8件)

- ・豆乳のを大量に摂取するとアレルギーをおこすことがあるため、豆乳には注意喚起がされているという、法で定められたこと以外にも大切な表示があることがわかった。(2件)

設問4 今後タウンミーティングで取り上げてほしいと思うテーマはありますか。

輸入食品の安全対策	39人
最近の食中毒事故の傾向	58人
その他※	1人
無回答	5人

※その他の内容

- ・食品表示と景表法の関係
- ・食品工場での安全対策

設問5 食品衛生行政に期待することは何ですか。

- ・食の安全・安心をまもること（12件）
- ・食中毒防止対策（5件）
- ・国民の安心・安全を保障する正確な表示（4件）
- ・食品表示法についての周知、普及啓発（4件）
- ・よりわかりやすい食品表示になってほしい（4件）
- ・衛生指導の強化（4件）
- ・アレルギーによる食品事故防止対策（3件）
- ・一般人がわかりやすい情報提供（2件）
- ・異物混入対策の徹底（2件）
- ・アレルギーの義務表示の拡大（豆乳等）
- ・「おおむね」等のあいまいな表現をなくしてほしい
- ・輸入品の増加に伴い、どこまで国産とうたってよいのか、消費者の理解を深めてほしい
- ・トレサビリティ開示の徹底
- ・事業所規模によるルール作り

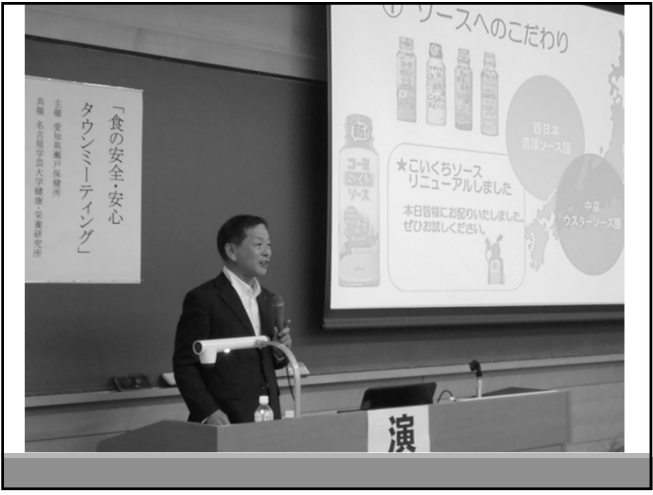
設問6 その他御意見があれば記入してください。

- ・企業の方の話が聞けてよかった。（4件）
- ・大変勉強になる。継続しての開催をお願いしたい。（3件）
- ・コーミソースのQRコードで料理レシピが見れるのはいいと思った。企業の社員の間ではやっている使い方が掲載されていれば面白いと思う。
- ・自分で普段買わない商品がいただけるととても嬉しい。
- ・冷房がききすぎている。
- ・やわらか食のレトルト表示が気になる。（「やわらか」の表示ができるできないの決まりはあるのか）
- ・法律が変わっていく根拠が知りたかった。（アレルギーの子供が増えている、食品表示に関するトラブルが増えている等）

「食の安全・安心タウンミーティング」
テーマ:食食品表示をもっと知ろう!

参加: 101名(学生94名)
 主催: 瀬戸保健所
 共催: 名古屋学芸大学 健康・栄養研究所

目的: 学生・一般市民・食品関係事業者及び瀬戸保健所が
 食の安全に関する情報を共有、関係者の理解を深める。
 日時: 平成29年9月12日(火)午後2時から5時
 内容: 講演1
 食品表示の役割
 一新たに義務化された栄養成分表示と保健機能性食品制度を中心に—
 消費者庁食品表示企画課 課長補佐 西尾 素子
 講演2・3・4
 食品表示の実際 会社の概要及び食品表示に対する取り組みの紹介
 フジパン(株) 購買部表示課 課長心得 牧野 卓哉
 金印株式会社 品質保証部 星野 則之
 コーミ株式会社 品質保証部 森部 哲也
 意見交換会





平成29年度 食の安全・安心タウンミーティング アンケート結果

食の安全・安心タウンミーティング事業をどのようにして知ったか。

学校からの情報	97人
知人からの情報	3人
市町の広報を見て	3人

参加して、参加関係者間の相互理解が深まりましたか。

たいへん深まった	29人
ある程度深まった	63人
どちらともいえない	5人
まったく深まらなかった	0人
無回答	6人

タウンミーティングに参加して、役立ったことがありますか。

食品表示について詳しく知ることができた。(43件)

企業の取り組みについてよくわかった。(37件)

食品表示を気にしてみようと思っきっかけとなった。(8件)

栄養成分表示が作成される過程についてよくわかった。

新しい食品表示法にどのように対応しているのかわることができ、将来に役立つ。

企業により表示に対する重点の置き方、考え方が異なっていることを感じた。

表示の仕方が売上げにつながるものもあると知った。(トランス脂肪酸の表示など)

原産地について産地証明を取得するなどしっかりした対応がとられていること。

商品の売り文句は何を基準にしているのかわかった。

営業(マーケティング)のためのデザインと表示法についてよく考えて違反しないように工夫されているのがわかった。